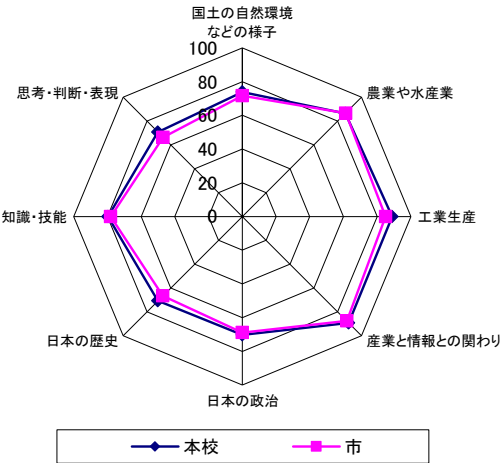


宇都宮市立桜小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	73.8	71.6	69.6
	農業や水産業	86.5	86.7	83.7
	工業生産	88.9	85.0	79.5
	産業と情報との関わり	89.3	87.7	77.4
	日本の政治	70.2	68.9	71.7
	日本の歴史	70.8	66.7	66.3
観点別	知識・技能	79.7	78.0	76.7
	思考・判断・表現	70.8	66.4	63.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本の周辺の海洋名についての設問では、市の平均正答率よりも7.9ポイント高かった。 ●日本の主な地形(湖)についての設問では、正答率が市の平均より2.6ポイント低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・引き続き、日本国内や世界の国々の様子について、日々のニュースなどに関連付けながら興味をもたせ、学習に臨むことができるようにする。また、授業の中で地図を基に考える学習活動を積極的に取り入れ、地図への親しみを高める。
農業や水産業	○米の生産の工程についての設問では、市の平均正答率よりも1.7ポイント高かった。 ●水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断する設問では、市の平均正答率よりも2.5ポイント低かった。	・農業や水産業についてのキーワードをしっかりと押さえた上で、授業の中で時事的な話題も取り入れ、外国との関わりについて視点を与え、さらに理解を深められるよう指導していく。
工業生産	○工業生産についての設問では、全ての正答率が市の平均を上回り、自動車の製造工程についての設問では市の平均正答率より5.9ポイント高かった。	・引き続き、日本の工業生産全体についてさらに理解を深めることができるように、自身の生活と関連付けながら学習していくようにする。
産業と情報との関わり	○情報の発信と受信の注意点についての設問では、市の平均正答率よりも9ポイント高かった。 ●さまざまなメディアの特徴についての設問では、市の平均正答率より5.8ポイント低かった。	・自身の生活を振り返らせながら、具体的に日本の情報産業について関心をもって学習できるようにする。他教科とも関連付けながら、知識や理解を高めていく。
日本の政治	○国民と国会と内閣の関係についての理解をもとに、図を読み取る設問では、市の平均正答率より7.9ポイント高かった。 ●内閣の働きについて理解する設問では、市の平均正答率よりも4.3ポイント低かった。	・日本の政治について、時事問題を用いるなどして興味をもたせながら、復習するようにする。
日本の歴史	○源平の戦いの理解をもとに、資料を判断する設問では、市の平均正答率より20.5ポイント上回った。 ●大王について理解する設問では、市の平均正答率より5.3ポイント下回った。	・正答率の低かった設問について、その時代に関する内容を復習するようにする。人物に焦点を当てて、それぞれの人物がどの時代にどのようなことをしたのか、結び付けることができるように教材を工夫する。